



勝負は一瞬
鍛錬は千日

TOYOKAWA

SOFTBALL TEAM

— Since 1992 —

☆スタッフ紹介

名誉顧問：石田 潤（1964 年 6 月 20 日生）

経 歴＝湖西高校→国士舘大学

役 職＝前・全国私学男子ソフトボール連盟会長

指導資格＝公財）日本スポーツ協会公認コーチ3（ソフトボール）

指導 歴＝	2006 年	全国高等学校総合体育大会（大阪インターハイ）	第3位
	2006 年	国民体育大会（兵庫のじぎく国体）	準優勝
	2009 年	国民体育大会（トキめき新潟国体）	準優勝



平成4年に男子ソフトボール部を創設。

監督として27年間指導に当たる。

その間、着実に強化を図り、愛知県総体7連覇（平成15年度～平成21年度）を含む、計27回チームを全国大会出場へと導いた。

また、国民体育大会にて愛知県選抜チームを率い、2度の全国準優勝に輝く実績を残した。

投手指導に定評があり、日本リーグで活躍する選手（横田祐助・深津悠平・本多祐貴）を数多く育成した。

令和元年度～令和6年度まで本校学校長を務め代表としてチームに携わっていただいた。

監督：太田亘哉（1987 年 9 月 7 日生）

経 歴＝豊川高校→常葉学園大学

役 職＝愛知県高体連ソフトボール専門部男子委員長・愛知県ソフトボール協会理事

指導資格＝公財）日本スポーツ協会公認コーチ1（ソフトボール）

指導 歴＝	2022 年	全国高等学校総合体育大会（高知インターハイ）	第5位
	2022 年	全国高等学校男子ソフトボール選抜大会（長崎）	ベスト8
	2023 年	第10回全国私学男子ソフトボール大会（福井）	優勝
	2024 年	第11回全国私学男子ソフトボール大会（福井）	ベスト4
	2025 年	全国高等学校男子ソフトボール選抜大会（千葉）	第3位



平成15年～平成17年に豊川高校在学。

男子ソフトボール部創部初の全国高校総体出場に貢献。3年連続での全国総体出場を果たす。

卒業後は常葉学園大学（静岡）へ進学。

教育学部心理教育学科にて教員免許状取得を目指しながら、全日本大学選手権出場、東海地域大学リーグベストナイン賞等の実績を挙げる。

平成22年に国語科教諭として本校赴任。

10年間、コーチとして石田先生のチーム指導法を学び、令和元年度より監督に就任。

積極果敢な挑戦を続けている。

コーチ：村上大和（1978年7月2日生）

経歴＝須崎工業高校（高知県）→豊田自動織機

実績＝08年東日本リーグ最優秀投手賞、ベストナイン受賞

代表歴＝97年第5回世界男子ジュニア選手権大会 U18 日本代表

09年第12回世界男子選手権大会 TOP 日本代表



男子ソフトボール界最高峰の「日本リーグ」において燦然と輝く実績を残した。

特に08年～09年シーズンはその活躍が顕著であり、日本代表TOPチームに名を連ね、世界選手権を戦った。

令和3年度より外部指導者としてコーチに就任し、指導に当たっている。

実績に裏打ちされた確かな指導力に定評があり、投手陣・野手陣共に全幅の信頼を置いている。

丁寧且つ的確な指導・アドバイスで、選手育成に大きな好影響をもたらしている。

令和7年度シーズンより豊田自動織機女子ソフトボール部（SHINING VEGA）投手コーチに就任。

トレーナー：今泉征也（1994年6月2日生）

経歴＝新城東高校→東海医療専門学校→ギア鍼灸接骨院

指導資格＝公財）日本スポーツ協会公認アスレチックトレーナー・JATI-ATI

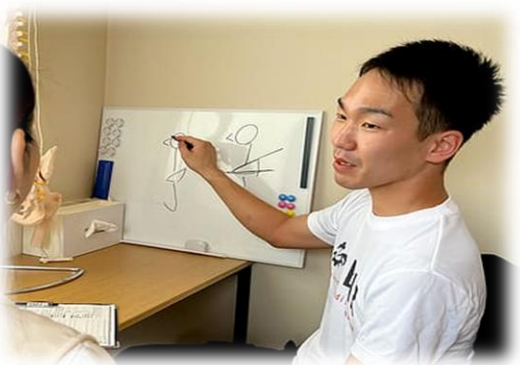
鍼灸師・あん摩マッサージ指圧師

専門競技＝野球・ソフトボール

指導実績＝中学生男子バレーボール JOC 愛知県選抜

新城ジュニア（中学生バレーボールチーム）

新城スピリッツ（中学生軟式野球チーム）



東海医療専門学校を卒業後、全国各地でトレーナー活動を展開して来た。

現在は豊川市内に「ギア鍼灸接骨院」を開業し、競技種別を問わず、ボディケアに従事し、多くのアスリートを支えている。

令和4年冬から外部指導者としてトレーナーに就任し、筋力トレーニングのみならず、食事・栄養に関する指導にも当たっている。

選手に寄り添いながら、時に優しく時に厳しい指導で選手育成に大きく貢献している。

令和6年度よりバレーボールの JOC 愛知県選抜チームの帯同トレーナーに就任。

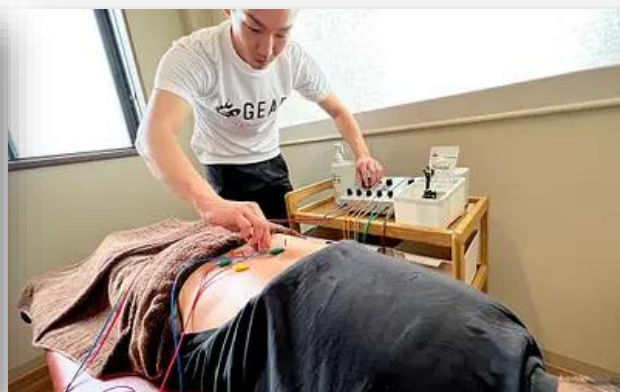
提携治療院：ギア鍼灸接骨院



今泉トレーナーが勤務する「ギア鍼灸接骨院」は学校から徒歩５分圏内。

活動後のボディケアはもちろん、練習中の受傷に対する応急的な対応も可能。

また、院内にはトレーニングスペースを併設しており、治療だけでなく、トレーニングジムとして利用することも可能。※提携料金にて通院可能



提携練習場：SECRET_BASE_TATATA



学校から車で約 10 分圏内。

室内練習場「TATATA」はオーナーが元・保護者会長という縁もあり、年額契約にて提携させていただいている。

ソフトボール専用ピッチングマシンが設置されており 120km 超の速球対策を中心に行っています。また、雨天時や夜間練習も実施でき、投手陣の投げ込みや野手陣の守備力強化にも一役買う男子ソフトボール部だけの「秘密基地」です。



☆チーム紹介

【基本方針】:

豊川高等学校の建学の精神（教育目標）に基づき、ソフトボール競技を通じ、人間的育成・成長に努め、周囲から自然と応援していただけるチームとなることを目指すものとする。

【目 標】:

- ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）優勝
- ・日本代表選手の育成
- ・高潔な人格と強い信念を有する良識豊かな社会人の輩出

【競技実績】: 創部1992年（平成4年）

- ・全国高等学校総合体育大会（インターハイ）
出場13回 最高成績＝第3位
- ・全国高等学校選抜大会
出場10回 最高成績＝第3位
- ・国民体育大会
出場5回 最高成績＝準優勝（2回）
- ・全国私学大会
出場10回 最高成績＝優勝（第10回大会）

通算全国大会出場40回

63戦35勝28敗

※令和7年4月現在

- ・日本代表選手 2名

深津悠平（中京大学→豊田自動織機） 安形恭悟（中京大学）※学生選抜

【進路実績】:

- ・日本リーグ 12名（現役選手のみ記載）
村上大空（豊田自動織機）、大岡弘樹（愛媛ウエスト）、門脇翔飛（日本エスエム）
深津悠平（豊田自動織機）、山田龍之丞（トヨタ自動車）
- ・大学進学
国公立：三重大 名古屋大 高知工科大 静岡県立大 防衛大学校
私 立：関西大 東京農業大 国土館大 北里大 神奈川大 城西大
中京大 愛知大 名城大 愛知学院大 中京学院大 常葉大 など
- ・一般就職
豊川市消防本部 新城市消防本部 愛知県警察 静岡県警察 陸上自衛隊
トヨタ自動車 アイシンAW 日本車輛 東海理化 OSG 日本トレクス
トヨタ車体 トヨタ紡織 日本郵政 など

【部 員】:

33 名（Ⅰ 類 27 名・Ⅱ 類 1 名）

学年	UN	氏名	ポジション	出身校	学年	UN	氏名	ポジション	出身校
3 年生	1	金田琉惺	内野手	田原・田原	2 年生	20	板倉伶和	投手	安城・桜井
	7	岡崎燈眞	外野手	豊川・金屋		22	梅村伊織	捕手	安城・安祥
	8	森瑛太	外野手	豊川・西部		23	田中瑛音	内野手	安城・北
	12	佐藤竜誠	外野手	豊川・金屋		25	眞河優之介	内野手	豊川・金屋
	14	安井陽太	投手	大阪・井高野		28	今泉篤希	外野手	豊川・一宮
	17	持留真心	捕手	豊川・金屋		—	菅沼有希苗	M	豊川・南部
	18	北澤諒祐	内野手	豊川・金屋	1 年生	2	山本陸斗	内野手	幸田・幸田
	34	横内隆輝	内野手	新城・千郷		3	豊田流空	内野手	豊川・東部
	36	吉田昂央	外野手	豊川・金屋		6	山口慶真	内野手	豊川・金屋
	44	岩井祐輝	内野手	新城・鳳来		18	獵沢海友	投手	幸田・幸田
	52	小野友翔	内野手	豊川・御津		24	樋口晴	投手	西尾・一色
	—	新海叶海	M	豊川・西部		98	水谷悠真	外野手	豊橋・中部
						99	渡辺大翔	内野手	幸田・幸田
2 年生	4	山本翔空哉	内野手	新城・鳳来	部員：28 名（player：26 名・Manager：2 名）				
	5	中村真央	内野手	豊川・一宮					
	9	市田彪	外野手	安城・桜井					

【練習環境】:

- ・専用グラウンド（ナイター照明5基完備）
- ・専用マイクロバス（29人乗り） ※2022 年 5 月新車納車
- ・寮完備

【練習時間】:

- ・原則月曜日 OFF
- 火～金 15:45～19:30
- 土/日/祝 8:00～14:00 ※遠征・合宿の場合はこの限りではありません。
- ☆練習試合対戦校
 - 啓新（福井）・星稜（石川）・神戸野田（兵庫）・光明相模原（神奈川）飛龍（静岡）等
 - ※石井 Wins・愛知 TopGun 等、県内一般男子上位チーム
 - 大阪グローバル Jr.・愛知 phoenix・愛知 SBC 等、ジュニアチームとも対戦。

【活動経費】:

- ・部費＝月額 5000 円（父母会費＝年額 5000 円）
- ・遠征交通費＝高速代÷参加人数（割前勘定）
- ・合宿遠征費＝約 30000 円～40000 円×年間4～5回
- ・公式戦ユニフォーム一式＝約 50000 円程（冬用グラウンドコートを含む）
- ・練習用ユニフォーム一式＝約 35000 円程（チーム統一バックパックを含む）

【指導・強化方針】

○ 勝負は一瞬、鍛錬は千日「やるからには日本一！」

ソフトボールは0.1秒を争う競技であり、一瞬のプレーが勝敗を分けます。

その一瞬の1プレーの為に、3年間約1000日の“鍛錬”に励みます。

練習は厳しいです。厳しく辛い練習を乗り越えるからこそ、その一瞬を制する力が養われるのだと信じています。やるからには「日本一」を目指して、“本気”で3年間の鍛錬に臨んで欲しいと考えています。

1ゲーム、1プレー、1スイングに最大集中した練習を求めています。

○ 挨拶・礼儀、清掃・グラウンド整備 日本一

挨拶ができる、できない。礼儀が正しい、正しくない。清掃ができて、できていない。グラウンド整備ができて、できていない。どちらがいいでしょうか。

どちらが応援されるチームか。考える必要もないですね。

日常生活は「判断」の連続です。その判断の質や基準を高めることこそが、人間力を磨くことになり、ソフトボールの競技力をも高めると考えています。

ソフトボール同様に「日本一」を目指して、自然と応援されるチームへと成長させたいと考え、指導しています。

○ 学校生活・学業が最優先

「学校生活あつての部活動」・「部活動は学校教育の延長線上にあるもの」と考えています。従って、高校生の本分である「学校生活」・「学業」が最優先です。

また、すべてが最終的には競技に繋がると考えています。

50分授業に最大集中できない者が、90分を超える1試合に最大集中できるはずがない。先生方の話を最大集中して聞けない者は、監督の話も最大集中して聞けない。

学校生活・学業の安定なくして、ソフトボーラーとしての大成はあり得ません。

○ 「好きこそものの上手なれ」

どんなことであっても、人は好きな物事には熱心に取り組み、労を厭いません。

ソフトボールも例外でなく、「楽しい!」「好き!」という気持ちを持って取り組むことが上達への近道だと考えます。従って、練習はチーム全員で盛り上がり取り組めるよう、工夫をしています。※ 楽なメニューではありません!

練習は楽しい雰囲気且つ真剣味を持って取り組んでいます。

また、練習中はレギュラー・非レギュラー、学年等に関わらず、チーム全員で同じメニューに取り組めます。

○強豪チームから学ぶ

男子ソフトボール部は専用のマイクロバス（29 人乗り）を有しています。

土日祝日には「日帰り遠征」を実施します。

東は光明相模原（神奈川）、西は神戸野田（兵庫）、北は啓新（福井）までを日帰り圏内に設定し、「全国大会常連校」との練習試合を年間 130 試合程度行います。

また、豊田自動織機や日本体育大学、中京大学といった日本のトップチームとも練習試合を行い、ソフトボールの技術だけでなく、戦い方やグラウンドでの立ち居振る舞い、ソフトボールへの取り組み方を学んでいます。

○研修大会主催・運営から学ぶ

豊川高校男子ソフトボール部は毎年 7 月に「新城サマートレーニングマッチ」（研修大会）を主催しています。「1 試合でも多く、強豪校と試合できる得策はないか？」と考え、令和 2 年度に新城市ソフトボール協会のバックアップを得て、研修大会を設立しました。全国各地のインターハイ出場校を対象に参加を募り、運営（グラウンド準備、試合補佐、審判等）はすべて豊川高校男子ソフトボール部員が担います。

ソフトボールを 1 試合行うために、どれだけの手が掛かり、どれだけの人員が割かれているのかを身を以て経験し、知ることによって多くの学びを得ています。

令和 6 年度大会参加校（順不同）

- ・光明相模原（神奈川）・富山工業（富山）・啓新（福井）・星稜（石川）・埼玉栄（埼玉）
- ・四日市工業（三重）・神戸野田（兵庫）・新見（岡山）・興國（大阪）・星稜（石川）

○経験豊富な“臨時”コーチから学ぶ

男子ソフトボール部 OB には現役を含め 12 名の日本リーグ経験者がいます。

そうしたトッププレイヤーを筆頭に、多くの OB や関係者が頻繁にグラウンドを訪れ、臨時コーチに就任してくれます。これは、これまでの歴史の賜物です。

私だけの指導ではチーム強化も限界があります。また、私の指導が全て正しく、万人に通じるとも思えません。多くの方々から指導を受け、自分に合った最適解を自ら模索し、トッププレイヤー（超ハイブリッド選手）へと成長を遂げて欲しいと考えています。

臨時コーチ

- ・猪上祐示（元・興國高等学校監督、大阪グローバルジュニア監督）
- ・福地 享（岡崎ファクトリー・ウィンドミル指導者）
- ・古海裕識（石井ウインズ・KB スポーツ店長・桜林スポーツ少年団コーチ）
- ・深津悠平（元・日本代表・豊田自動織機、豊川高 OB）
- ・横田祐助（元・トヨタ自動車、愛知 TopGun、豊川高 OB）
- ・本多祐貴（日本エコシステム、豊川高 OB）

など多数…

【年間予定】（概要）

4月 3週目土日 強化遠征（北陸 or 関東 or 四国）

5月 GW期間 全国私学大会
3週目土日 愛知県高校総体（インターハイ予選）

6月 3週目土日 東海高校総体

7月 海の日近辺 サマートレーニングキャンプ（豊川高主催研修大会）
3週目土日 愛知県選手権

8月 1週目 福岡遠征（天満杯）
夏季休業中 全国高校総体
お盆期間 天城研修大会（関東近県大会）
3週目土日 国体東海ブロック予選

9月 1週目土日 愛知県順位大会
SW期間 AWAODORI CUP（徳島遠征）

10月 1週目土日 国民体育大会
3週目土日 愛知県新人体育大会（全国選抜予選）

11月 2週目土日 東海新人大会

12月 2週目土日 全国私学東海ブロック予選
終業式近辺 大阪研修大会（関西近県大会）

2月 2週目 鹿児島遠征

3月 春季休業中 全国選抜大会
// 天城研修大会（関東近県大会）

※予定はあくまで暫定的なものであり、変更があり得ます。

